

諸外国における ライドシェア法制と 安全確保への取り組み

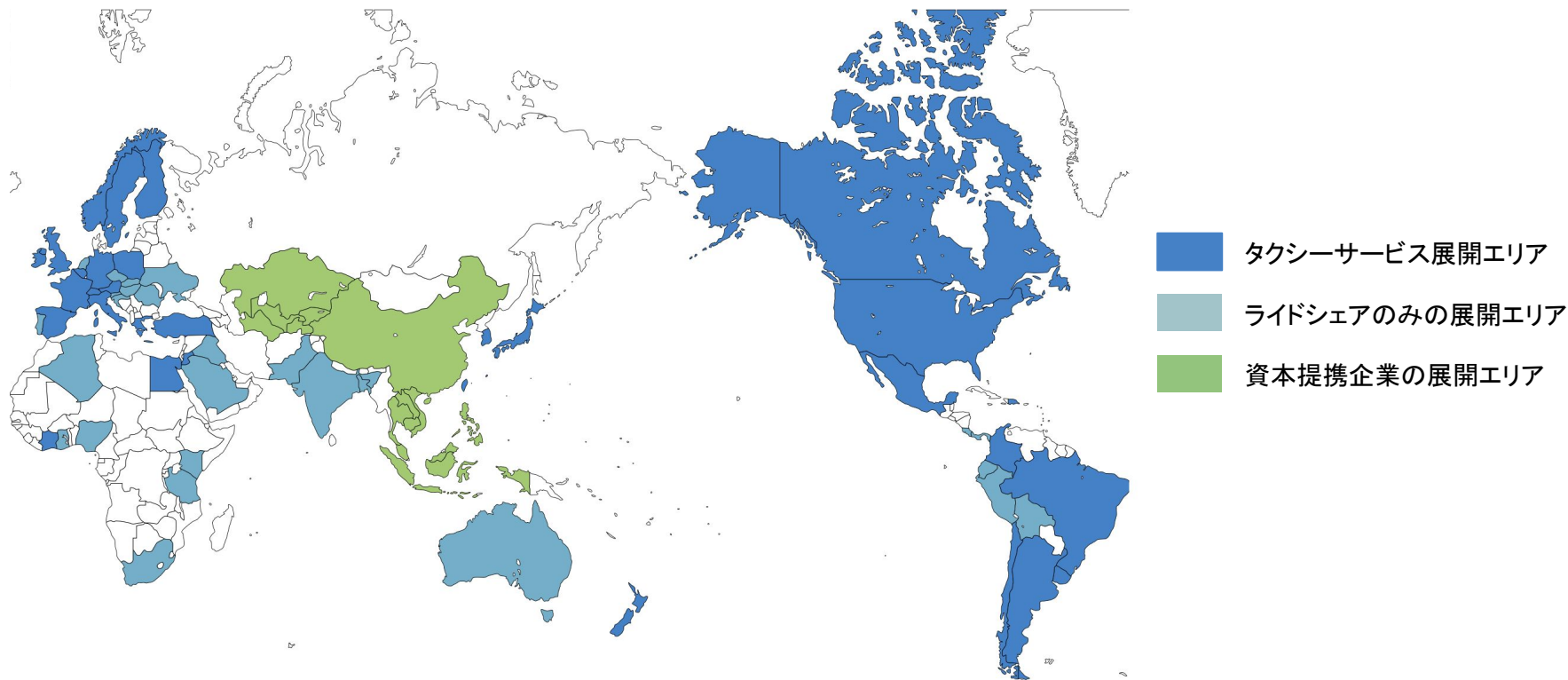
2023 年 11 月 6 日

Uber Japan 株式会社

Uber

Uber におけるモビリティサービスの展開エリア

Uber は、70 カ国 10,000 都市以上で様々なサービスを提供する、世界最大のモビリティプラットフォームとなっている。うち 33 か国で、タクシーの配車事業を展開している。



ライドシェア事業は適切な規制のもと制度化されている

G20 主要国におけるライドシェアの導入および制度化の状況

北米	米国	TNC 型	プラットフォームへの許可制。運転手の事故・犯罪歴、規制に適った車両点検の有無の確認、保険の付保などは、プラットフォームの責務とされている	欧州	英国	PHV 型	運転手・車両に加えプラットフォームにも規制。運転手の要件は、健康状態や犯罪歴の確認、語学能力、試験合格
	カナダ	TNC 型			フランス	PHV 型	運転手・車両に規制。運転手の要件は、健康状態や犯罪歴の確認、語学能力、二段階の試験合格
中南米	ブラジル	TNC 型			ドイツ	PHV 型	運転手の要件はタクシーと同様に健康診断程度だが、PHV 事業者による運行管理を受ける場合が多い
	メキシコ	TNC 型			イタリア	未導入	PHV 制度があるが、日本のその他ハイヤーと類似
アジア・太平洋	中国	PHV 型	運転手の許可制。要件は犯罪歴の確認など。プラットフォームにも許可要件があり、安全確保の責任が課されている		ロシア	PHV 型	プラットフォーム・運転手の許可制と思われる。詳細確認中
	豪州	PHV 型					
	韓国	未導入					
	インド	TNC 型	プラットフォーム及び車両に規制あり				

諸外国におけるライドシェア法制

TNC 型ライドシェア法

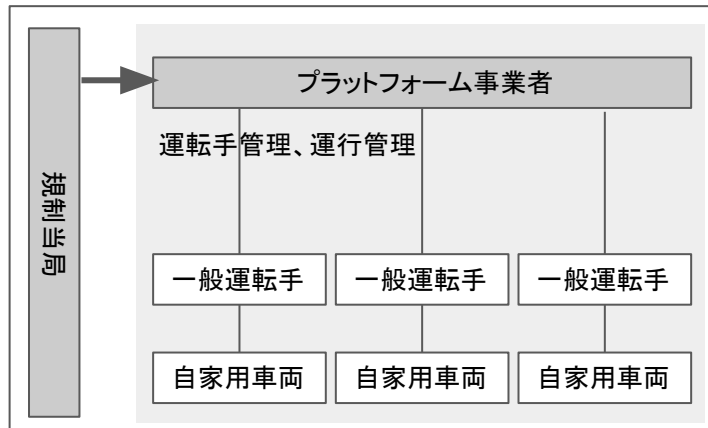
法制の概要

Uber 等プラットフォーム事業者を Transportation Network Company (TNC) と位置付け、TNC による運転手管理や運行管理を義務付け。

導入国

米国、カナダ、ブラジル等

規制・管理 スキーム



期待 効果

供給の増加

供給の柔軟化

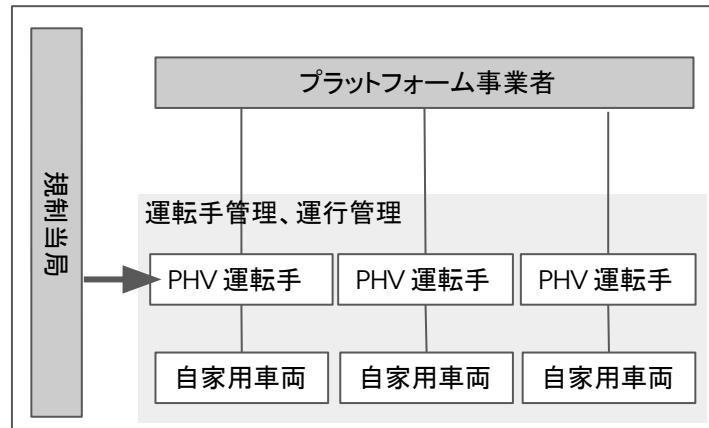
自動運転への適用

- 短時間勤務等で運転手採用の間口が拡大。
- 自宅等から稼働が始められるため、時間的・場所的な需要の増減に対応しやすい。
- 米国 AZ 州等で自動運転に TNC 法を適用へ

PHV 型ライドシェア法

個人タクシーの派生形である Private Hire Vehicle (PHV) として位置付け、運転手に対して登録や車両・運行管理を義務付け。

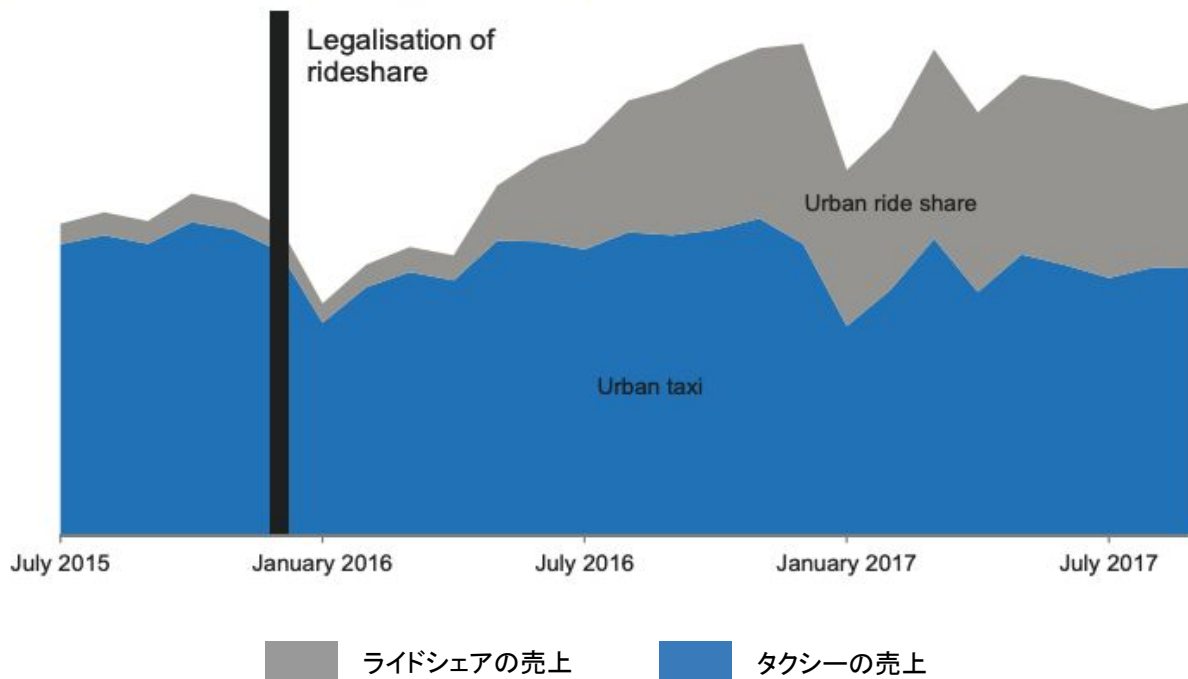
英国、シンガポール、フランス、ドイツ等



- 短時間勤務等で運転手採用の間口が拡大。
- 自宅等から稼働が始められるため、時間的・場所的な需要の増減に対応しやすい。
- × 規制対象となる運転手が存在しない。

タクシーとライドシェアの共存共栄は可能

豪州 NSW 州が公開したデータによると、2016年のライドシェアの制度化以降、タクシー市場が縮小することはなく、ドア・ツー・ドアの旅客運送の売上げ全体が増加していることが分かる。



ライドシェア乗車中の犯罪発生率は国の治安事情を反映

性犯罪の例

米国 Uber と日本のタクシーにおける強制性交等・強制わいせつの発生率の差は、米国と日本の社会全体における強制性交等の発生率の差と同程度と考えられる。Uber 乗車時の性犯罪率が際立って高いわけではない。

	乗車回数 10 万回あたりの発生率 (2020年、米国は Uber、日本はタクシー)		人口 10 万人あたりの強制性交等 発生率(国全体、2020年)
	強制性交等+強制わいせつ	強制性交等	
米国	0.1535 (乗車回数 6.5 億回、発生件数 998 件)※1	0.02169 (乗車回数 6.5 億回、発生件数 141件)※1	38.14 (発生件数 126,430 件)※3
日本	0.0034 (乗車回数 5.6 億回、発生件数 19 件)※2	0 (乗車回数 5.6 億回、発生件数 0 件)※2	1.05 (発生件数 1,332 件)※3
米国 / 日本	45.1 倍	—	36.3 倍

注: 米国における強制わいせつの発生件数は公開されていないため、国全体の比較は強制性交等の件数を使用。

注: 乗車回数あたりの発生率については、米国 Uber での認知件数がアプリ上での通報数であるのに対し、日本のタクシーは警察への通報件数であることに注意が必要。法務研究所による調査結果※4では、性的被害に遭ったことがある人のうち、捜査機関に届けなかった人が約8割に上っている。

※1: [Uber US Safety Report](#) p.56

※2: [「警察庁犯罪統計書 令和2年の犯罪」](#) p.205

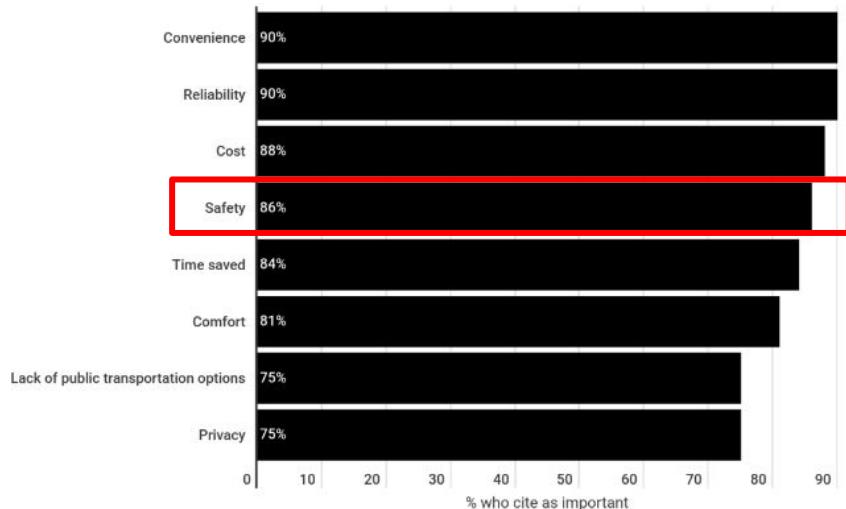
※3: [UNODC データ](#) Sexual Violence: Rape、人口は世銀データ

※4: 法務総合研究所 [第5回犯罪被害実態\(暗数\)調査のうち「性的な被害」に係る調査結果\(概要\)](#) P.259

サービス提供国の多くでは「安全性」が普及要因の一つ

Uber を選択する理由に関する回答(豪州)

1. 利便性(90%)
1. 頼れるサービス(90%)
3. 価格(88%)
4. 安全性(86%)



出典: [The Impact of Uber in Australia](#)

Uber for Teens(米国)

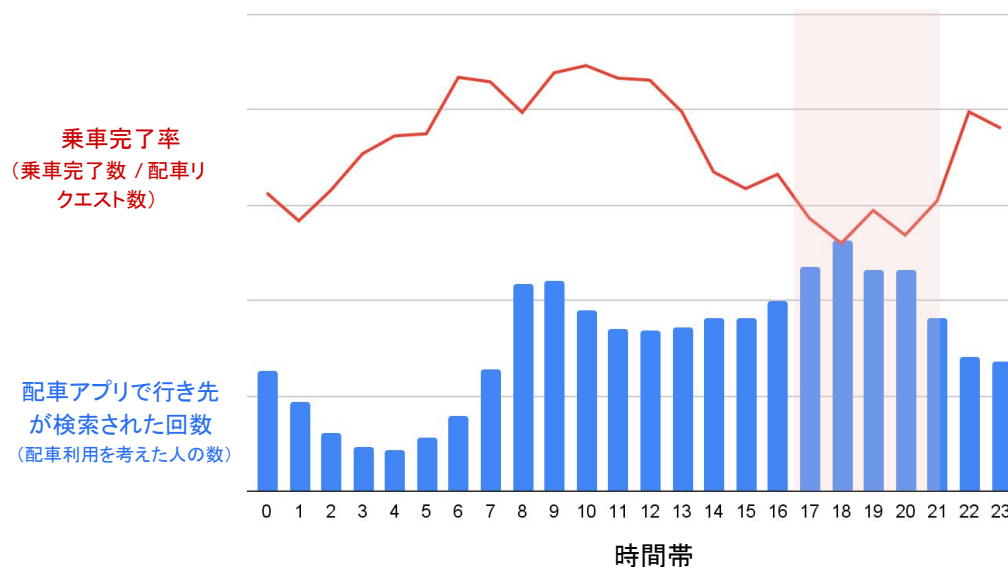
13 ~ 17 歳の青少年でも、親のアカウントとリンクさせることにより、両親等が同伴しなくても Uber の配車を注文し、乗車することができる(49 の州で展開)



参考: タクシーの供給不足 — 福岡市における Uber Taxi の事例

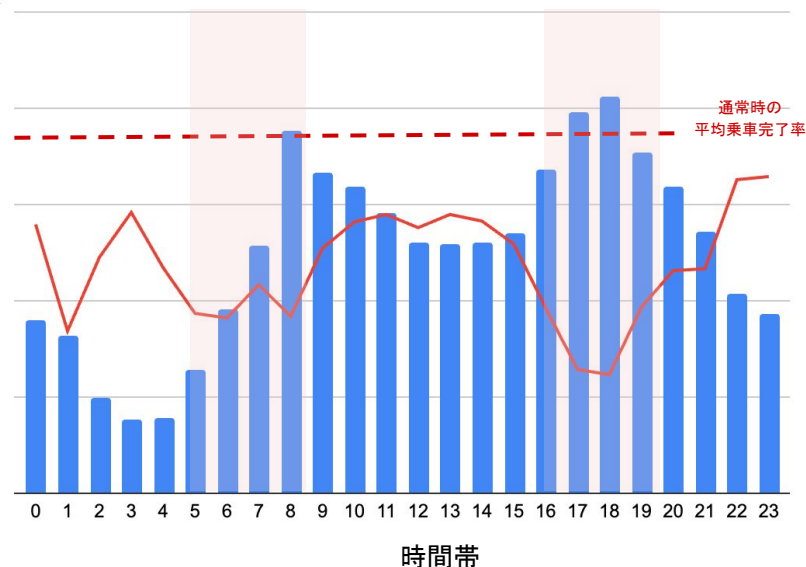
通常時の需給状況(週平均)

通常の週であっても、帰宅時間帯などのピーク時に利用したい人の数が増えると、乗車完了率が低下する。



世界水泳大会開幕週の需給状況(週平均)

国際イベントを前に、1日あたりの検索数が通常の1.5倍以上になった。1日を通して乗車完了率が低下し、平均完了率は通常の6割程度となった。



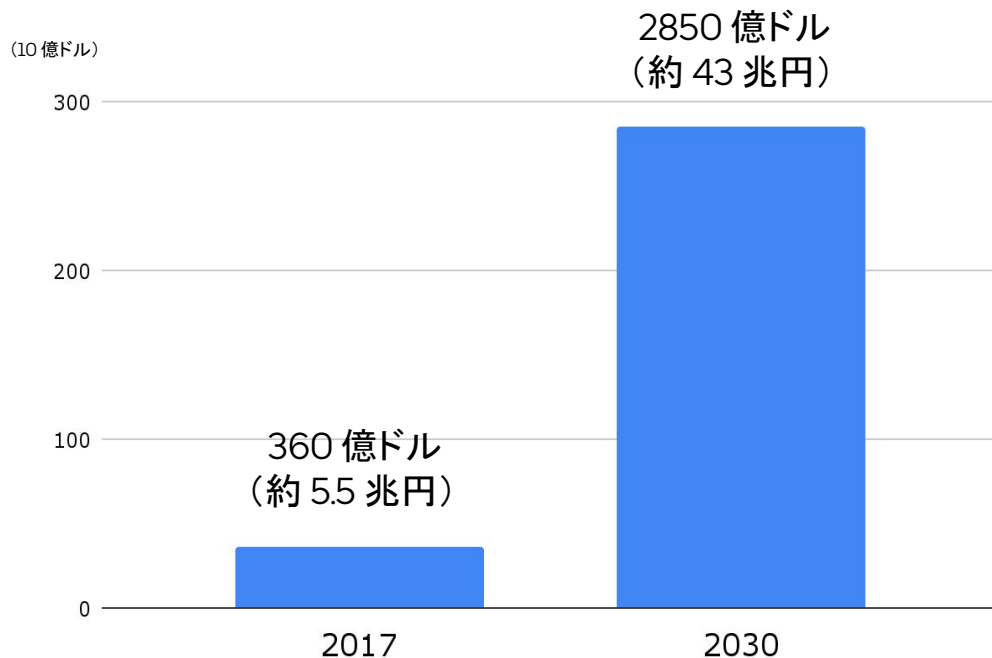
参考資料

1. 諸外国におけるライドシェアの受け止め
2. 各国の規制および事業者の取り組み
 - a. 米国カリフォルニア州
 - b. 英国ロンドン
 - c. オーストラリア ニューサウスウェールズ州
 - d. シンガポール
3. タクシーサービスとの共存
4. 郊外・地方における交通の便の改善
5. 交通安全とライドシェア
6. テクノロジーを活用した安全・安心対策
7. 経済への好影響

1. 諸外国における ライドシェアの広がり と受け止め

世界的なライドシェアの市場規模予測

2017 年時点の調査で、ライドシェアの市場規模は当時の 360 億ドルから 2030 年までに 2850 億ドル(世界のタクシー市場の約 3 倍)に成長し、ユーザーの割合は世界人口の 13% に迫るとの試算が出された。



Uber の消費者余剰(豪州)

消費者余剰は、商品やサービスがもたらす経済厚生を測る指標である。2021 年のオーストラリアにおいて、Uber のライドシェアサービスの消費者余剰は 34 億ドル(約 3,200 億円)と試算された。Uber Eats の 32 億ドルと合わせると、GDP の 0.35% にのぼる。

\$3.4_{bn}



\$3.2_{bn}



In 2021, we estimate that Uber and Uber Eats produced \$6.6 billion in consumer surplus for Australians.

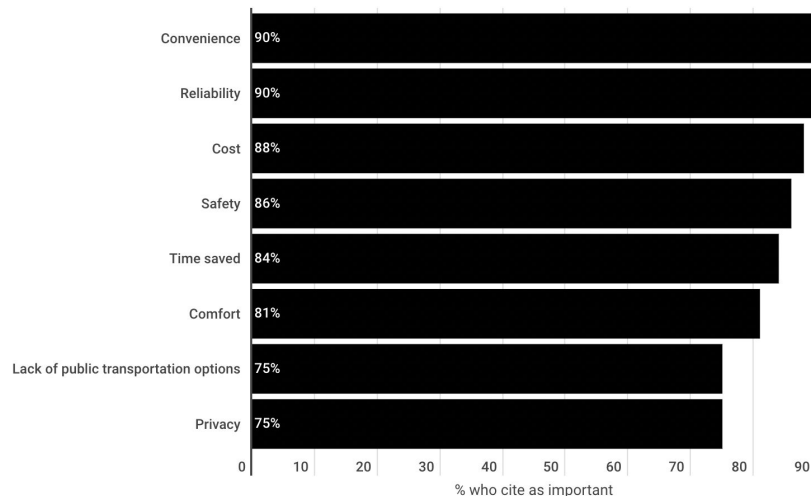
出典: [The Impact of Uber in Australia](#)

Uber を選択する理由に関するユーザーアンケート結果

豪州

1. 利便性 (90 %)
1. 頼れるサービス (90 %)
3. 価格 (88 %)
4. 安全性 (86 %)

Which factors tend to be important or unimportant in why you choose to use Uber?

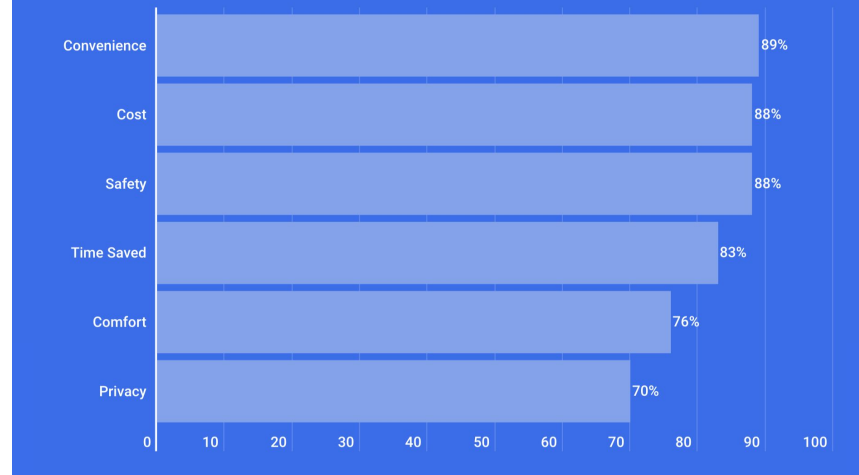


出典: [The Impact of Uber in Australia](#)

英国

1. 利便性 (89 %)
2. 価格 (88 %)
2. 安全性 (88 %)
4. 時間の節約 (83 %)

Which factors tend to be important or unimportant in your choice to use Uber?



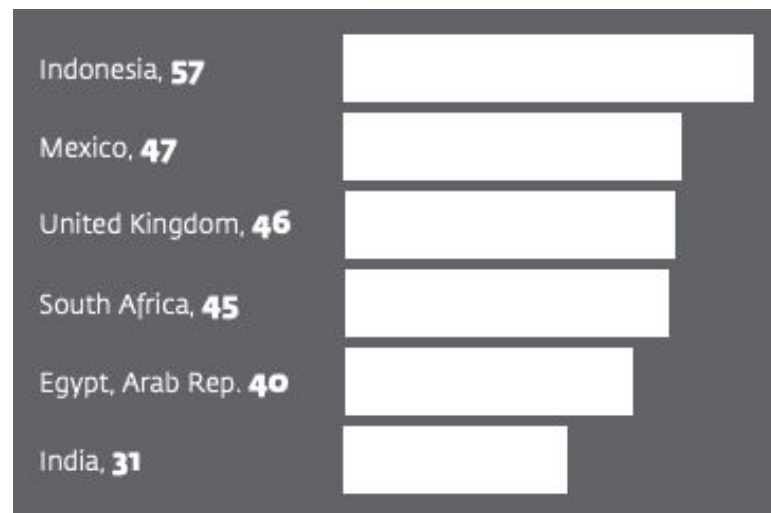
出典: [The Impact of Uber in the UK](#)

ライドシェア利用者における女性ユーザーの割合

宗教的、文化的背景の異なる様々な国において、ライドシェアの女性ユーザーの割合は、50%前後となっている(※1)。

ライドシェアの活用が進む米国においては、2017 年時点でライドシェア運転手の 30% 近くが女性(※2)。

女性ユーザーの割合 (%)



インドネシア、エジプト、インド、メキシコ、南アフリカ、英国における女性ユーザーへの調査によると、

- 女性ユーザーの約 30% が、乗車や GPS の情報が全て記録されている、運転手の情報を先に見ることができるなど、ライドシェア特有の安全機能があるためにライドシェアを利用する、と回答
- 女性ユーザーの 30 %が、子どもを連れてライドシェアで移動すると回答
- 母親ユーザーの 40 %近くが、ライドシェアの導入によって子どもと移動するのが楽になったと回答

※1 [Driving Toward Equality: Women, Ride-hailing, and the Sharing Economy](#)

※2 [The Gender Earnings Gap in the Gig Economy: Evidence from over a Million Rideshare Drivers](#)

23 か国で、女性運転手が女性客のみとマッチングする仕組みを実装

2019 年サウジアラビアで、女性がフレキシブルに報酬を得る機会を作るため、女性運転手が女性の乗客のみとマッチングする機能を選択的に導入。その後、カナダ、オーストラリア、ブラジルを含む 5 大陸 23 か国で導入され、本機能を使った乗車は、2023 年 3 月時点で 4,400 万回の乗車を記録している。

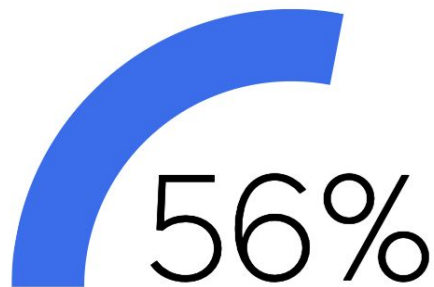


注: ノンバイナリーの運転手含む。

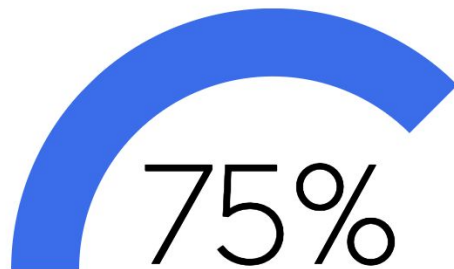
出典: [Women in the driver's seat: Using technology for women's economic empowerment](#), [Drive your way – with the Women Rider Preference feature](#)

Uber によるアクセスと安全性の向上に関する認識

英国でのユーザー調査によると、Uber が使えるようになったことで、帰路の飲酒運転、犯罪に巻き込まれる不安などが減り、気兼ねなく夜遅くまで外出できるようになったとの声が多く寄せられた。



“帰宅時には、Uber が最も安全な手段だと感じる”

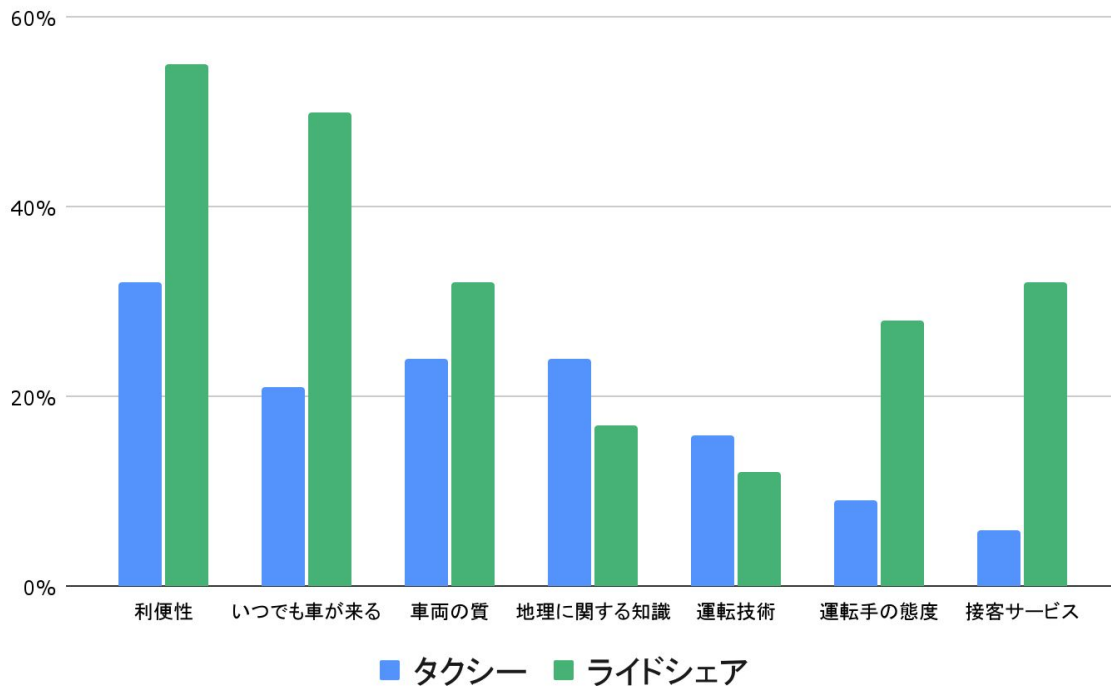


“Uber のような選択肢があることで、飲酒運転が減ると思う”



“Uber のような選択肢があることで、夜遅くまで出かけやすくなった”

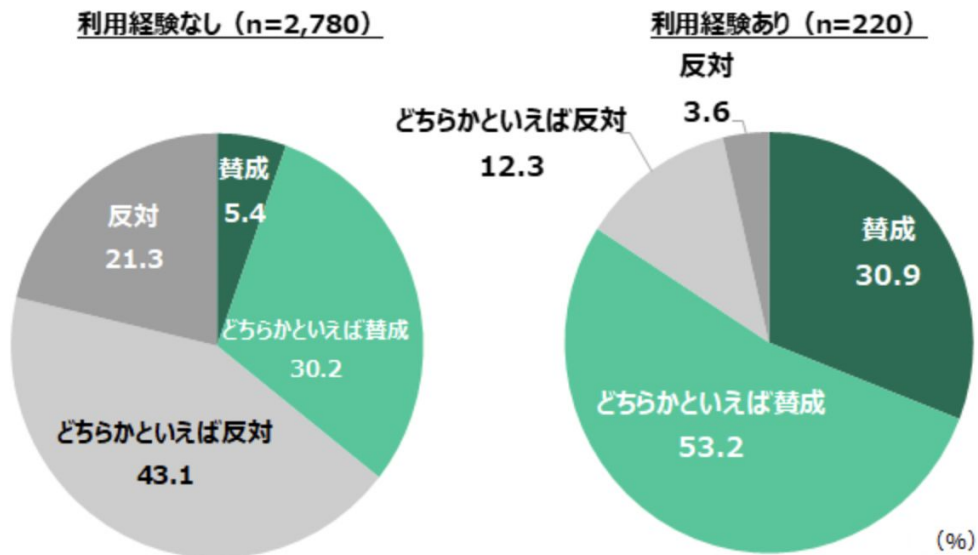
タクシーとライドシェアの利用者によるサービス評価比較 (豪州シドニー、2019年)



【参考】日本におけるライドシェアに関する社会受容性調査

日本における世論調査において、海外でライドシェアの利用経験のある層では、利用経験がない層よりも賛成の割合が大幅に高くなっている。

【データ1】 営利型ライドシェアサービスの日本への導入賛否



©2023 MM Research Institute, Ltd.

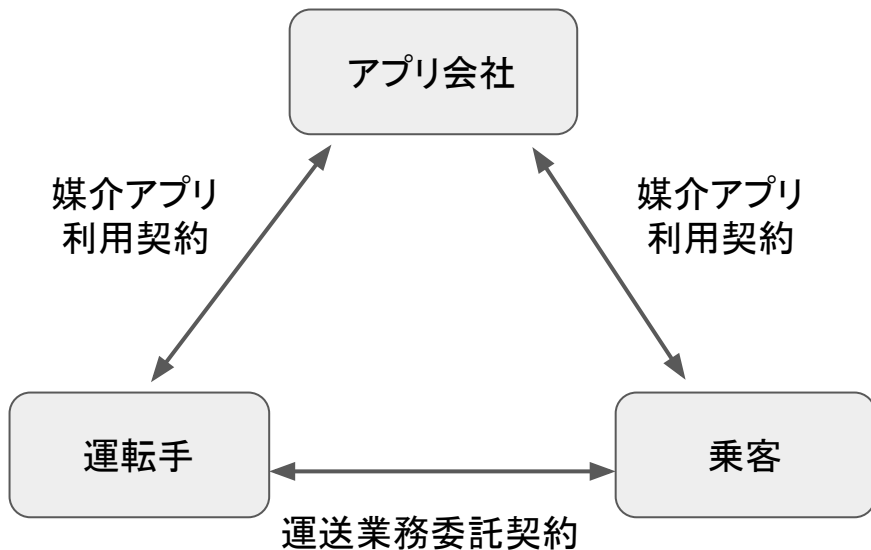
2.各国の規制および 事業者の取り組み

契約関係

運転手、乗客、プラットフォーム事業者間の契約形態には、運転手が運送契約の主体となり、プラットフォームが媒介する「媒介契約モデル」と、プラットフォームが運送契約の主体となる「直接契約モデル」が存在する。英国ロンドンのように、規制上いずれかのモデルが指定されている場合と、各事業者委任されている場合がある。

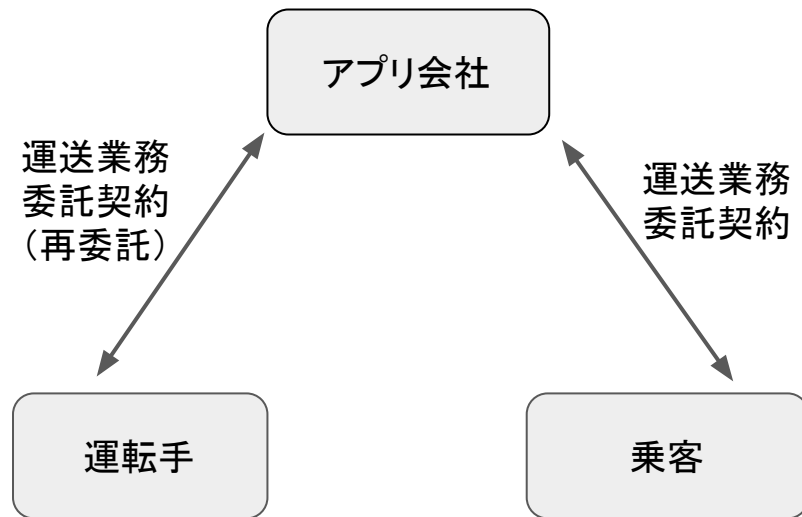
媒介契約モデル

プラットフォーム事業者が、乗客と運転手間の運送契約を媒介



直接契約モデル

プラットフォーム事業者が、運送契約の当事者となる



ライドシェアの制度および安心安全対策 ― 米国カリフォルニア州



ライドシェア導入の経緯

- 2009 年以降、Uber や Lyft 等の営利型ライドシェア事業者が営業を開始
- 2013年、州当局は営利型ライドシェア事業者をタクシーやリムジンとは異なるTNC (Transportation Network Company)として制度化し、利用者の安全のために規制を設け、営業を認めた
- 背景として、供給不足や低品質などタクシーへの不満が多かった一方、通勤用カープoolsが普及しており、営利型ライドシェアが抵抗なく受け入れられたと考えられる

プラットフォーム事業者		【規制】プラットフォーム事業者は、Transportation Network Company としてカリフォルニア州公益事業委員会の許可が必要
運転手管理	資格/免許	【規制】下記の要件を満たし、許可を受けたTNCに登録。要件を満たしているか、TNCが確認義務を負う
	運転技術	【規制】普通運転免許を有する21 歳以上、1 年以上の運転経験 【規制】過去3 年以内に免許停止になった者、7年以内に重大な交通違反を起こした者は不適格 【規制】TNC が安全運転・ハラスメント防止等に関する研修を提供 【Uber】交通安全の専門家と共同開発した独自研修を実施 【Uber】乗客から危険運転などに関する通報があった場合、運転手のアカウント停止など適切な措置を取る
	犯罪歴	【規制】TNC が犯罪歴を網羅的に確認する 【Uber】運転手が新たに犯罪を犯した場合、検知してアカウントを停止する仕組みを導入
車両整備	車両条件	【Uber】製造後16 年以内の車両で、目立った傷や破損のないもの
	車両点検	【規制】運転手は、登録時に州認定施設で車両点検を受ける義務 【規制】登録後1 年間または5 万 マイル運行毎に、同上の車両点検を受ける

ライドシェアの制度および安心安全対策 ― 米国カリフォルニア州

運行管理	点呼	【Uber】飲酒運転が確認された場合、一回でアカウントを永久停止する旨ガイドラインに明記。飲酒運転や居眠り運転が疑われる場合、乗客からUber への通報を促し、危険運転をする運転手の排除に努めている				
	過労防止	【規制】24時間のうち累計12 時間稼働すると、6 時間連続した休息を取るよう規定 【Uber】州法の規定に合わせて、累計12 時間稼働した運転手は6 時間アプリを利用できないよう設定 【Uber】上限時間未満でも1 日 / 1 週間あたり一定時間以上稼働をする運転手には、過労防止を注意喚起				
	運行記録	【規制】事業者には、法定された一定情報の記録・保管義務あり				
トラブル 対応責任	接客品質	【Uber】ガイドライン及び運転手登録時の講習において、差別・ハラスメントなどの禁止事項をカバー 【Uber】相互評価システムを設け、運転手・乗客双方に不適切な言動を避けるよう誘導				
	身体保護	【Uber】ガイドラインで禁止される差別・暴力行為などの通報が入った場合、アカウント停止などの措置をとる 【Uber】Uber や警察への通報(24時間体制)、乗車中の音声・画像記録、家族との位置情報共有などの機能を提供 【Uber】乗車中に長時間の停車が見られる、乗車が経路途中で終了した時などにはUber が自動的に探知して状況を確認するメッセージを送信し、必要に応じて通報を促す機能を搭載				
	トラブル対応	【Uber】サポートセンターにて、忘れ物対応や返金対応を実施。運転手・乗客間のトラブルが発生した場合、双方に事実確認を行い、当該運転手・乗客間のマッチング停止や、場合によってはアカウント停止などの措置をとる				
	保険付保	【規制】プラットフォーム事業者には、運転手本人、対人・対物の最低補償額(＊)をカバーする保険付保の義務あり (＊)最低補償額 <table><tr><td>配車リクエストの承諾～乗車中：</td><td>100 万ドル(約1.5 億円)以上</td></tr><tr><td>リクエスト前：</td><td>一人あたり対人5 万ドル 以上、一事故あたり対人10 万ドル以上、対物30 万ドル 以上。加えて一事故あたり上乗せ保険20 万ドル以上。</td></tr></table>		配車リクエストの承諾～乗車中：	100 万ドル(約1.5 億円)以上	リクエスト前：
配車リクエストの承諾～乗車中：	100 万ドル(約1.5 億円)以上					
リクエスト前：	一人あたり対人5 万ドル 以上、一事故あたり対人10 万ドル以上、対物30 万ドル 以上。加えて一事故あたり上乗せ保険20 万ドル以上。					

22

ライドシェアの制度および安心安全対策ーロンドン



ライドシェア導入の経緯

- 2012年、UberはPHV (Private Hire Vehicle) ライセンスを持ったドライバーと利用者をマッチングするサービス (uberX) を開始。
- ライドシェア導入以前から、PHV の「ミニキャブ」サービスやタクシーのアプリ配車が普及していた2016年には、タクシーとのイコールフットイング確保のため、PHV の規制強化を実施。
- ライドシェアは、ミニキャブ以上に運転手の柔軟な働き方を実現。PHV ライセンス取得者は急増し、乗客のアクセスも改善した。

プラットフォーム事業者		【規制】ロンドン交通局が発行するPHV 事業者ライセンスの取得が必要。期限は最大5年間 【規制】PHV 事業者は、運送契約の主体として乗客・第三者の安全な輸送に責任を持つ
運転手管理	資格/免許	【規制】下記の要件を満たした上で、ロンドン交通局発行のPHV 運転手ライセンス (PCO) を取得する。3年毎に更新が必要
	運転技術	【規制】普通免許を有する21 歳以上、3 年以上の運転経験 【規制】安全運転、交通関連法規に関する理解度試験と、地図を見てルートを選択し、運転する能力を見る実技試験の合格が必要 【Uber】乗客から危険運転などに関する通報があった場合、運転手のアカウント停止など適切な措置を取る
	犯罪歴	【規制】PHV運転手ライセンス申請時に、政府が幅広いバックグラウンドチェックを実施
	健康状態	【規制】PHV運転手ライセンス申請時に、医師による診断結果を提出
車両整備	車両条件	【規制】車検・保険関連書類を添付のうえPHV 車両として届出を行う。製造後10 年以内で、排気量規制を満たす必要あり (2023年～)。運行時は、PHV 車両であることをの掲示が必要
	車両点検	【規制】PHV 車両ライセンスは毎年更新が必要。届出の更新のためには、年に2 回の車検合格が必要

ライドシェアの制度および安心安全対策ーロンドン

運行管理	点呼	【Uber】飲酒運転が確認された場合、一回でアカウントを永久停止する旨ガイドラインに明記。飲酒運転や居眠り運転が疑われる場合、乗客からUberへの通報を促し、危険運転をする運転手の排除に努めている。
	過労防止	【Uber】10 時間稼働した運転手は、その後6 時間稼働できないよう設定している 【Uber】上限時間未満でも1 日/1 週間あたり一定時間以上稼働をする運転手には、過労防止を注意喚起
	運行記録	【規制】配車を依頼する運転手および車両の詳細を記録し、保管すると共に、ロンドン交通局に提出する義務がある。また配車に関する一定情報を記録し、予約日から一年間保管する義務がある
トラブル 対応責任	接客品質	【規制】運転手ライセンス取得に一定の英語能力が必要。また理解度試験で、差別禁止に関する内容をカバー 【Uber】ガイドライン及び運転手登録時の講習において、差別・ハラスメントなどの禁止事項をカバー 【Uber】相互評価システムを設け、運転手・乗客双方に不適切な言動を避けるよう誘導
	身体保護	【Uber】ガイドラインで禁止される差別・暴力行為などの通報が入った場合、アカウント停止などの措置をとる 【Uber】Uber への通報機能(24時間体制)、乗車中の録音機能、家族との位置情報共有機能などを提供 【Uber】乗車中に長時間の停車が見られる、乗車が経路途中で終了した時などにはUber が自動的に探知して状況を確認するメッセージを送信し、必要に応じて通報を促す機能を搭載
	トラブル対応	【規制】事業者ライセンスの条件の一つとして、トラブルや苦情への対応体制(電話窓口)の整備が必要 【規制】重大な違反や事故の発生時はPHV 事業者が警察、ロンドン交通局に通報する義務がある 【Uber】サポートセンターにて、忘れ物対応や返金対応を実施。運転手・乗客間のトラブルが発生した場合、双方に事実確認を行い、当該運転手・乗客間のマッチング停止や、場合によってはアカウント停止も措置
	保険付保	【規制】事業者:運転手が従業員の場合、事業者が保険加入。個人事業主の場合、運転手の保険加入を確認する義務 【規制】運転手:個人事業主の場合、一定以上の内容がカバーされる業務用保険に加入する 【Uber】運転手加入の保険を上回る補償や、何らかの理由で運転手の保険が使えない場合などは、Uber が負担する

ライドシェアの制度および安心安全対策 — 豪州 NSW 州



ライドシェア導入の経緯

- 2012 年以降、Uber が営業を開始。低品質に加え、競争不足やタクシーライセンスの価格高騰で運賃が高止まりしていた従来のタクシーには不満が多く、ライドシェアの利用が拡大
- 2016 年、ライドシェアをハイヤーと位置付けて規制し、タクシーについてもライセンス制度を撤廃するなど、旅客運送事業規制を大規模に改革する新法を制定
- タクシーライセンスの価格下落などの補填として、政府はタクシー業界への財政支援を実施。財源は、タクシーおよびライドシェアの乗車ごとに乗客に課税

プラットフォーム事業者		【規制】ドア to ドア 交通委員会の認可が必要 【規制】「予測できる危険を回避するために必要な措置をとる」というアウトカムベースの全般的な安全確保義務が課されている
運転手管理	資格/免許	【規制】下記の要件を満たした上で、上記交通委員会が発行する旅客運送ライセンス (PTLC) を取得。5 ～ 10 年毎に更新が必要 【規制】交通委員会は、ライセンスを取得した全ドライバーのライセンス所持期間、健康状態、交通事故歴、犯罪歴などを記載したポータルを管理。プラットフォーム事業者は、運転手の登録時および定期的に同ポータルを確認する義務がある。
	運転技術	【規制】過去2年間のうち少なくとも累計12ヶ月間、制限のない運転免許を有していること 【規制/ Uber】全般的な安全確保義務のもと、登録時の安全講習、危険運転をした運転手の排除等の措置を実施
	犯罪歴	【規制】一定の犯罪を犯した者は不適格
	健康状態	【規制】ライセンスの取得に、全国交通委員会の定める商業運転手の健康基準を満たすことが必要
車両整備	車両条件	【規制】道路運送法に規定する安全基準を満たす車両を使用
	車両点検	【規制】毎年車両点検を受ける

ライドシェアの制度および安心安全対策 — 豪州 NSW 州

運行管理	点呼	【規制/ Uber】飲酒運転が確認された場合、一回でアカウントを永久停止する旨ガイドラインに明記。飲酒運転や居眠り運転が疑われる場合、乗客からUber への通報を促し、危険運転をする運転手の排除に努めている。
	過労防止	【規制/ Uber】安全確保のため、Uber は累計 12 時間稼働した運転手は8 時間アプリを利用できないよう設定。登録時またその後一年おきに、過労防止に関する講習を実施し、さらに日・週単位で注意喚起
	運行記録	【Uber】乗降場所や走行経路などの記録を保持し、トラブル発生時などは事後的に検証可能
トラブル 対応責任	接客品質	【規制】車内での禁煙、不快な振る舞いや快適性を妨げる行為の禁止などを規定 【Uber】ガイドライン及び運転手登録時の講習において、差別・ハラスメントなどの禁止事項をカバー 【Uber】相互評価システムを設け、運転手・乗客双方に不適切な言動を避けるよう誘導
	身体保護	【規制/ Uber】ガイドラインで禁止される差別・暴力行為の通報が入った場合、アカウント停止などの措置をとる 【規制/ Uber】Uber への通報機能(24時間体制)、家族との位置情報共有機能などを提供 【規制/ Uber】乗車中に長時間の停車が見られる、乗車が経路途中で終了した時などには、Uber が自動的に探知して状況を確認するメッセージを送信し、必要に応じて通報を促す機能を搭載
	トラブル対応	【Uber】サポートセンターにて、忘れ物対応や返金対応を実施。運転手・乗客間のトラブルが発生した場合、双方に事実確認を行い、当該運転手・乗客間のマッチング停止や、場合によってはアカウント停止も措置
	保険付保	【規制】運転手に5 百万ドル以上の保険への加入義務、プラットフォーム事業者に保険付保の確認義務 【Uber】乗務員加入の保険を上回る補償や乗務員が保険未加入の場合などはUber が対人・対物補償を負担。また、運転手自身の特定の怪我、後遺症、死亡についてUber が一定額を補償。稼働中の怪我などで働けない場合、一日 150ドルを 30 日まで支払う休業補償も備えている。

ライドシェアの制度および安心安全対策 ― シンガポール



ライドシェア導入の経緯

- 従来のタクシーサービスは、一部配車アプリの活用が始まっていたものの、需要が高い時間帯にも供給が増えずに乗客の待ち時間が長くなるなど、利便性の課題が表面化していた
- 2013年頃からライドシェアが進出。政府は乗客の安全を守るため、またタクシー事業者との平等確保のため、2014年から19年にかけて、ライドシェアに一定の規制を課す一方、タクシー業界への規制緩和を伴う法律改正を行なった

プラットフォーム事業者		【規制】800 台以上の車両を抱える事業者は、国土交通局が発行する配車事業者ライセンスの取得
運転手管理	資格/免許	【規制】下記の要件を満たした上で、タクシーまたはプライベートハイヤー用の業務用免許を取得する。3年毎に更新が必要
	運転技術	【規制】普通免許取得後1 年以上が経過した30 歳以上 【規制】ライセンス取得には、運転技術、ルート選択に関する10 時間の特別講習の受講、試験への合格が必要 【規制】危険運転を含む違反行為は点数制で記録され、一定点数を超えると業務用免許が停止される
	犯罪歴	【規制】業務用免許取得時に犯罪歴の確認が行われる。過去に特定の犯罪を犯した者はライセンスが受けられない
	健康状態	【規制】業務用免許取得時に健康診断結果の提出が必要
車両整備	車両条件	【規制】空調の設置、必要な場合の車内改造
	車両点検	【規制】国土交通局に車両点検・保険関連書類を提出し、プライベートハイヤー車両であることを示すサインを掲示 【規制】毎年車両点検を受ける

ライドシェアの制度および安心安全対策ーシンガポール

運行管理	点呼	【アプリ事業者】飲酒運転や居眠り運転の禁止をガイドラインで明記。違反が疑われる場合、乗客から通報
	運行記録	【規制】事業者に、法定された一定情報の記録・保管義務あり
トラブル 対応責任	接客品質	【規制】業務用免許取得に必要な特別講習では、接客に関する内容が含まれる 【アプリ事業者】運転手登録時の研修に、ハラスメント防止や接客マナーに関する内容が含まれる 【アプリ事業者】Uberと同様、相互評価システム等を導入している
	身体保護	【アプリ事業者】ガイドラインで禁止される差別・暴力行為が指定され、違反行為について乗客・運転手はアプリ上または電話で通報することができる 【アプリ事業者】事業者への24時間の通報機能、家族等との位置情報共有機能などを提供
	トラブル対応	【規制】事業者ライセンスの発行条件に、トラブルや苦情への対応体制の整備が含まれる 【アプリ事業者】乗客・運転手はアプリ上、電話または対面のサポートセンターでサポートを受けられる
	保険付保	【規制】運転手は、対人・対物補償を含む適切な保険に加入する 【Grab】運転手本人の入院・死亡、第三者損害について一定額(入院費用2,000 USD/約30万円、死亡時20,000 USD/約300万円、対人・対物補償200,000シンガポールドル/約2200万円)をカバーする保険を無償で提供している

※ 事業者の取り組みについては、公開情報の範囲で作成

ライドシェアの制度および安心安全対策 ― 中国



ライドシェア導入の経緯

- 2013年～2015年、滴滴(DIDI)、快的(KUAI DI)など大手のライドシェアプラットフォーム業者が相次ぎ市場に参加し、利用が拡大
- 2016年11月、「インターネット予約旅客運送サービス管理暫行弁法」を施行し、ライドシェア業界を法制化
- 同サービスは、「インターネット技術を利用してサービスプラットフォームを構築し、供給・ニーズの情報を整合し、条件を満たす車両及び運転手を用いて、流しではない予約サービスを提供する経営活動」として定義されている

プラットフォーム事業者		【規制】プラットフォーム事業者は、「インターネット予約旅客運送経営許可書」を取得する必要がある 【規制】事業者は、運送契約の主体としての責任を負い、運行の安全を確保し、乗客の合法的な権益を保護する義務がある
運転手管理	資格/免許	【規制】下記を満たし、インターネット予約旅客運送運転手許可書の取得が必要
	運転技術	【規制】運転する車両に相応しい免許を持ち3年以上の運転経験がある 【規制】交通事故、危険運転、および飲酒運転歴がない。また規定期間の間に、免許が一定点数以上の減点を受けていない
	犯罪歴	【規制】麻薬利用、暴力犯罪の犯罪歴がないことの確認が必要
	健康状態	【規制】全国単位の規制上には明記なし 【DIDI】安全運転に支障のある疾病がないか確認
車両整備	車両条件	【規制】累計走行距離が60万km以下かつ使用期間が8年以下 【規制】プラットフォームは、車両が規定の許可を受けており、適切な保険が付保されていること、技術・安全基準を満たしているかを確認する義務を負う。安全基準とは、運転記録機能付のGPS、緊急警報装置の設置に加え、その他地域当局が定める安全機能を指す 【規制】プラットフォームは車両情報を当局に提出し、登録車両以外が使用されないよう対策を取る義務がある

ライドシェアの制度および安心安全対策 ― 中国

運行管理	点呼	【DIDI】飲酒運転をした場合、一回でアカウントが永久停止になる旨を明示
	過労防止	【DIDI】累計の稼働時間が4時間に達した場合には、20分間の休憩が必要であり、サービス提供時間が累計して10時間に達した場合には、6時間の休憩が必要などのルールが定められている
	運行記録	【規制】プラットフォーム事業者には、プラットフォームで公布する情報、ユーザー登録情報、ネット上の取引記録、行動履歴などを記録し、保存する義務がある
トラブル 対応責任	接客品質	【規制】プラットフォーム事業者と運転手には、関連する国家運営サービス基準を遵守する義務がある。例として、途中で乗客を降車させる、故意に迂回する、規制に違反して料金を請求する、またサービスの品質に関する苦情などを理由に乗客に報復することなどを禁じている 【規制】プラットフォーム事業者は、法律、サービス規範、安全運営等の方針に関し、運転手に日常的な教育・トレーニングを行う義務がある
	身体保護、 トラブル対応	【DIDI】人身、物品保護のための安全規則が定められている 【DIDI】トラブルに対して適切に対応し、安全を確保するため、乗客の同意に基づいて提供する、車内の録音・録画機能を備えている
	保険付保	【規制】プラットフォーム事業者は、運転手が車両に適切な保険をかけていることを確認し、また乗客・第三者のために運送者責任保険を自ら付保する義務がある。各地域の追加規定がある場合もある

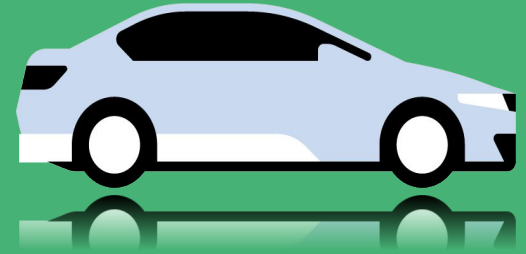
出典

米国カリフォルニア州

- [運輸分野における個人の財・サービスの仲介ビジネスに係る欧米諸国の動向等に関する調査研究](#) (2017年7月 国土交通省 国土交通政策研究所)
- [California Public Utilities Code](#)

英国ロンドン

- [Private Hire Vehicles \(London\) Act 1998](#)
- [Private Hire Vehicle Driver's Handbook](#)
- [Guidance for London Private Hire Vehicle Operators: Contracts with Passengers](#)
- [Statutory taxi and private hire vehicle standards](#)
- [Taxi & Private Hire Vehicle Licensing Inspection Manual](#)



出典

豪州 NSW 州

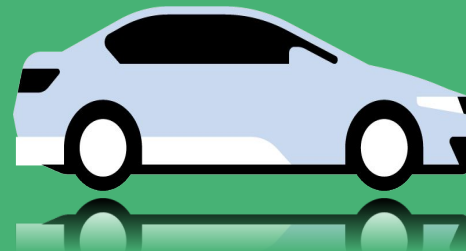
- [Point to Point Transport Taskforce Report to the Minister for Transport and Infrastructure](#)
- [Point to Point Transport \(Taxis and Hire Vehicles\) Act 2016 No 34](#)
- [Point to Point Transport \(Taxis and Hire Vehicles\) Regulation 2017](#)
- [Road Transport \(Vehicle Registration\) Regulation 2017](#)
- Point to Point Transport Commissioner [“Safety Duties and Standards”](#)

シンガポール

- [Third-Party Taxi Booking Service Providers Act 2015](#)
- Land Transport Authority [“Applications for Private Hire Car Driver’s Vocational Licence to Open on 13 March 2017”](#)
- [Point-to-Point Passenger Transport Industry Act 2019](#)

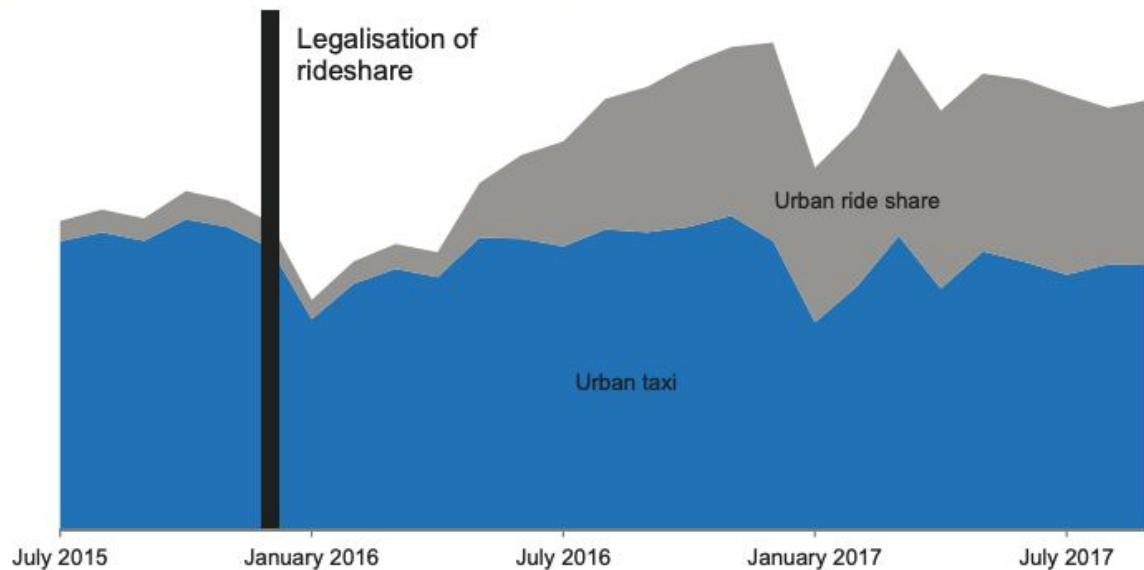
中国

- インターネット予約タクシー経営サービスの管理暫行弁法



3. タクシーサービス との共存

ライドシェア導入後のタクシーとライドシェアの売上推移 (豪州NSW州)



Note: This graph shows growth in number of transactions. It is based on debit and credit card transactions, and as such does not take into account whether this represents an increasing proportion of taxi trips.

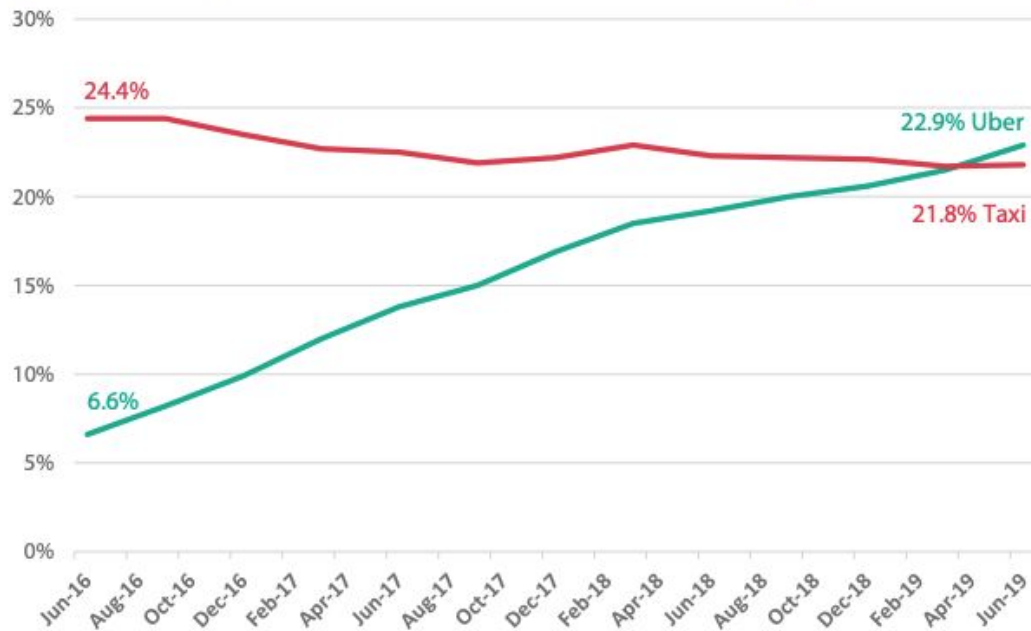


ライドシェアの売上



タクシーの売上

直近 3 か月にタクシーまたは Uber を利用した人の割合の推移 (豪州NSW州)



Source: Roy Morgan (2019), Ride-sharing app Uber overtakes taxis as preferred private transport service, media release, 26 August 2019. Data source: Roy Morgan Single Source Australia, July 2015 - June 2019. Rolling 12-month quarterly figures. Average interviews per year n=14,733. Base: Australians aged 14+

タクシーとライドシェアの売上・運送回数推移(シンガポール)

シンガポール運輸省の発表によれば、ライドシェア導入後の 2013 年から 2016 年にかけて、ドア・ツー・ドア旅客運送の売上げ全体が倍増する一方、タクシーの平均運送回数は 967,000 回／日から 954,000 回／日の微減に留まっている。



PHC services benefitted commuters in supplementing demands unmet by taxi services

21 February 2017 by [Neyla](#)

Minister for Transport Khaw Boon Wan stated that the growth of private hire car (PHC) services has benefitted commuters as they supplement taxi services.

This is his response to a question filed on 20 February by Mr Gan Thiam Poh, MP for Ang Mo Kio GRC, who asked the Minister for Transport whether the Ministry will review and control the number of vehicles that can be used for private vehicle hire in addition to the vocational licence requirement for such car drivers.

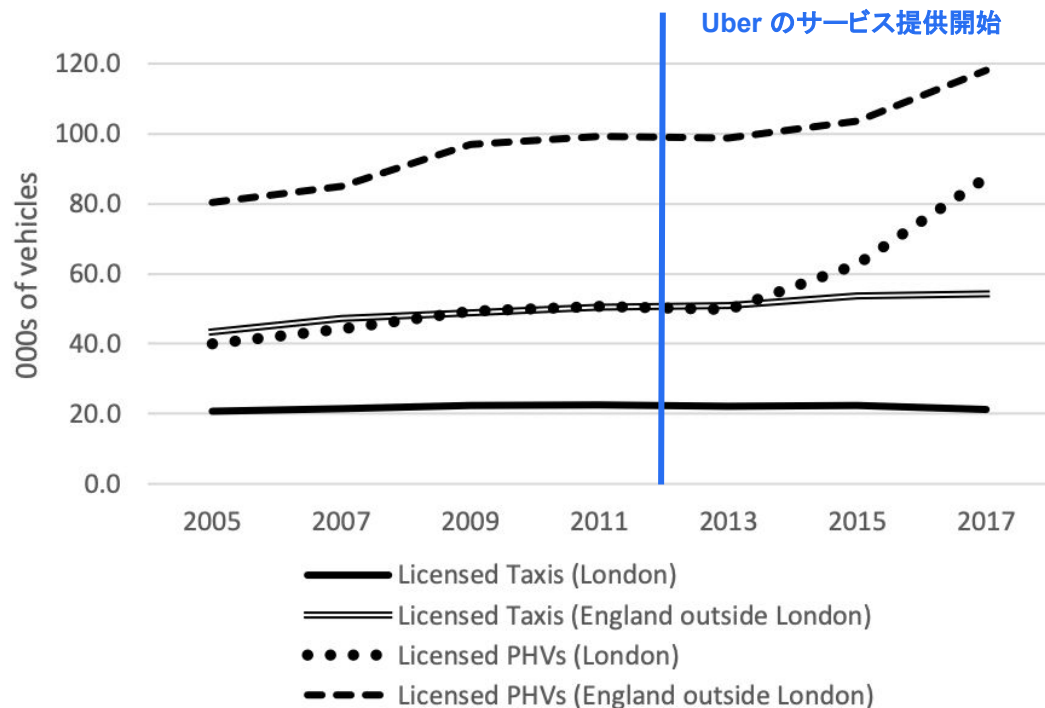
The Minister stated that the private-hire services have now claimed about half the market for point-to-point transportation services, stressing that this comes as the total number of taxi trips has remained relatively stable, with only a slight drop from an average of 967,000 trips daily in 2013 to 954,000 trips daily in 2016.

“That means that the new players have been meeting new demand or unmet demand,” the Minister said, adding that he thinks the best approach is to let Singaporeans decide.

出典: Public Transport Council “[Commuters Satisfied with Taxi and Private Hire Car Services](#)”

参考: [2017年2月21日付 The Online Citizen](#)

ライドシェア導入後のロンドン市内外におけるライセンス数の変化



ロンドン市内:

タクシーライセンス: 2005年から15年にかけて8%増加、2015年から17年にかけては5%減少。

PHVライセンス: 2005年から13年にかけて約25%、2013年から17年にかけては約75%増加。

ロンドン市外:

タクシーライセンス: 2005年から17年にかけて、安定的に20%増加。

PHVライセンス: 2005年から17年にかけて、45%弱増加。

諸外国におけるイコールフットイング確保のための規制改革

参入規制の厳しいタクシーに一定の好条件を残したり、タクシー事業についても免許取得要件を緩和する、アプリ配車の場合は変動運賃制を認める、などの規制緩和を行い、タクシーとライドシェアのイコールフットイングが図る動きが各地で見られる。

	運転手の免許	営業方法	数量規制	運賃規制
ロンドン	タクシー運転手のみ、タクシー・PHV 双方の営業ができる兼用ライセンスを取得できる。現在、タクシー運転手の 56% が兼用ライセンスを取得している (※1)。	タクシーは、アプリ配車、タクシー乗り場での待合、流し営業いずれも可能。PHV は、アプリ配車を含む事前予約のみ。	タクシー、PHV 共に一定の基準を満たす運転手にはライセンスが付与され、総量規制はない。イギリスの他の地域では、タクシーに総量規制を導入している場合もある。	タクシーについてはロンドン交通局が定めた運賃表が適用。PHV については、事前確定条件に変動運賃が導入されている。
シンガポール	ライドシェアの法制化と並行し、タクシー免許取得にかかる時間を 60 時間から 25 時間に短縮。一方ライドシェア運転手も、10時間の講習受講が義務付けられている。	同上	タクシー、PHV 共に一定の基準を満たす運転手にはライセンスが付与され、総量規制はない。	タクシーについても、アプリ配車の場合は、制限のない事前確定変動運賃を許可。流し営業については、政府が運賃表を設定している。
豪州	タクシーはタクシーライセンス、ライドシェアは旅客運送ライセンスの取得が必要。	同上	タクシー、PHV 共に一定の基準を満たす運転手にはライセンスが付与され、総量規制はない。	タクシーについても、アプリ配車の場合は、制限のない事前確定変動運賃を許可。流し営業については、政府が運賃表を設定している。

※1: [Taxis and private hire vehicles in the UK transport system: how and why are they changing?](#)

タクシーにおける事前確定変動運賃の効果

アプリ配車に限り、タクシーでも事前確定変動運賃の導入を許可する動きは世界各地で広がっている。これは、ライドシェアが法制化されている地域では、ライドシェアとアプリ配車タクシーの運賃形態が同じになることを意味し、Uberにおけるライドシェアの配車依頼を、タクシー運転手にも受注してもらうことが可能になった。

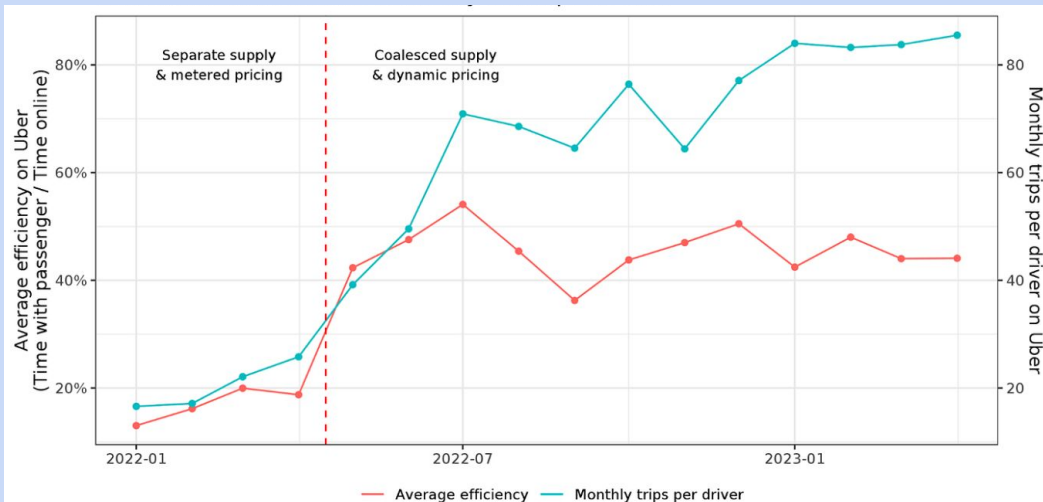
ライドシェアの配車依頼も受けるタクシー運転手は、それ以外の運転手と比べ売上げが大幅に増加。ライドシェア導入により掘り起こされた新たな需要の恩恵を、タクシーの規制緩和によってタクシー運転手も受けられるようになった事例である。

米国, サンフランシスコ: ライドシェアの配車依頼を受けるタクシー運転手は、受けない運転手よりも月の報酬が平均23.8% 多くなった。

スペイン, マドリード: ライドシェアの配車依頼を受けるタクシー運転手は、受けない運転手と比べてUber からの配車数が2 倍以上となり、報酬も週に60% 以上多くなった。

アルゼンチン, ブエノスアイレス: 2022 年 5 月にタクシーの事前確定変動運賃を導入。2022 年 4 月から2023 年 4 月にかけて、ライドシェアの配車依頼を受けるタクシー運転手は、Uber からの配車数・報酬共に200% 以上増加。客を乗せずに走っている時間の割合も、80% から60% に減少した。

ブエノスアイレス: 変動運賃導入前後の、タクシー運転手の効率と月間配車数の推移



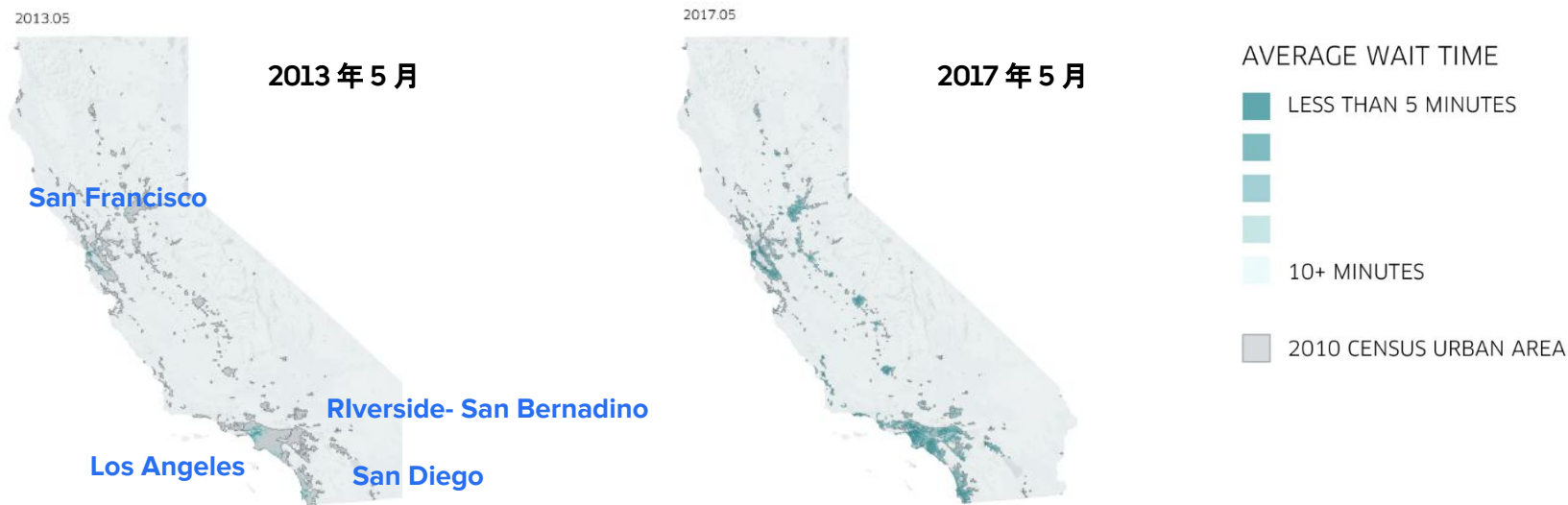
出典: [The value of flexible taxi fares](#)

4. 郊外・地方における 交通の便の改善

カリフォルニア州における郊外地域への広がり

2013 年 Uber は、四大大人口密集地域であり、カリフォルニア州の人口の 1/2 が居住するロサンゼルス、サンフランシスコ、サンディエゴ、サンバーナーディーノでサービス提供を開始した。

2017年には、州内の 172 のエリアでサービスを展開し、そのうち 102 のエリアは人口 30,000 人以下であった。元々交通手段が自家用車の運転しかなかった郊外エリアで、運転ができない地域住民の貴重な足となっている。



地方でのオンデマンドバス運行支援

Uber は、相乗りサービスである Uber Pool の仕組みを活用し、米国・カナダの 70 以上の自治体と連携し、公共オンデマンドバスの運行を支援している。人口密度の少ない地域に加え、低所得地域、障がいのある住民の貴重な足となっている。



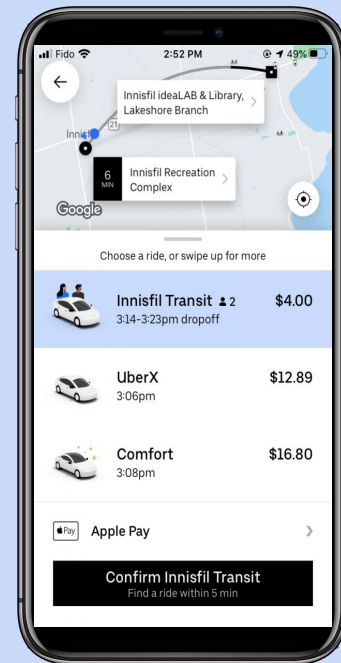
カナダ オンタリオ州のケース

オンタリオ州郊外で、複数の小規模集落を合併して作られた新興市 Innisfil (人口 36,000 人) では、地域全体を走る公共交通機関がなかった。路線バス等との比較の結果、コストが抑えられるオンデマンドバスを、Uber を使って運営することに決めた。

サービスを開始した 2017 年 5 月から 2020 年 2 月までに、市内全域をカバーする 22 万回の乗車を達成。同じエリア・乗車数を路線バスでカバーする場合の 1/4 程度のコストで運営することができたと試算されている。

- ✓ アプリ上または電話で予約
- ✓ 発着のいずれかが地域内であれば利用可能
- ✓ 一乗車の平均コスト 17 ドルに対し、市が 10 ドル、住民が 7 ドルを負担

出典: [The Success of Innisfil Transit](#)



5.交通安全と ライドシェア

ライドシェアサービスにおける交通事故率

走行距離 1 億マイルあたりの Uber の自動車事故死亡率は、全米平均の約半分。

Uber プラットフォーム上で起きた交通事故の 94% は、第三者(他の運転手等)に起因するものであったことが確認されている。

2017 年および 2018 年の 1 億マイル走行あたりの自動車事故死亡率に関する比較

	2017年		2018年	
	Uber	全米	Uber	全米
総マイル数	82 億マイル	3.2 兆マイル	102 億マイル	3.2 兆マイル
自動車事故死亡者数	49	37,133	58	36,560
1 億マイルあたり 自動車事故死亡率	0.59	1.17	0.57	1.13

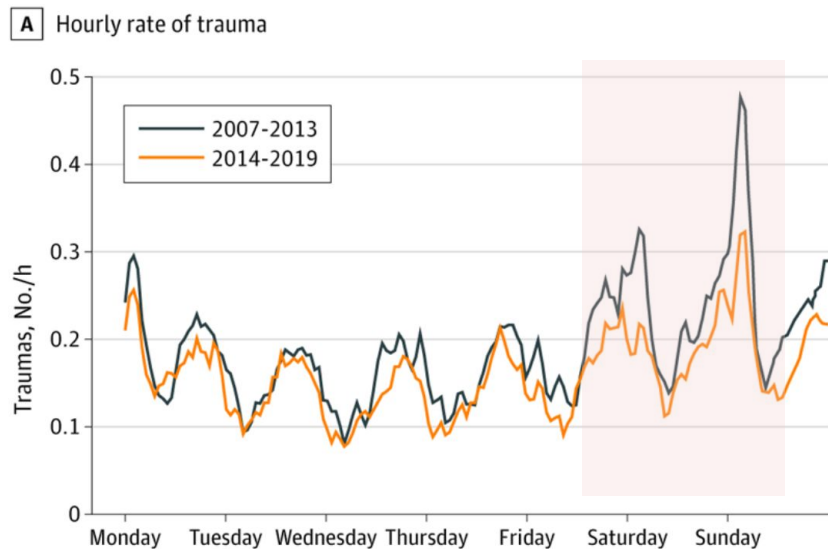
出典: 2017-2018 [US Safety Report](#)

ライドシェア導入に伴う飲酒運転の減少

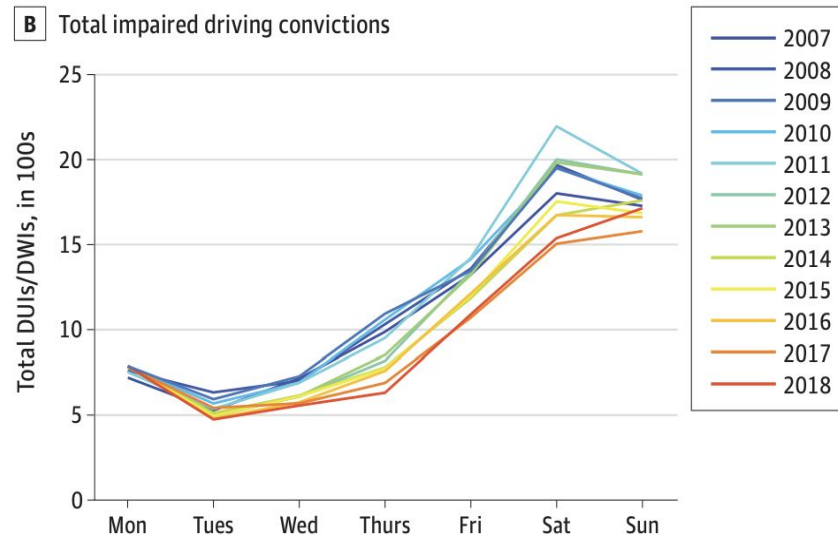
2014年にウーバーがテキサス州ヒューストンに進出した後、金曜と土曜の夜における自動車衝突事故件数は、全年齢で 23.8%減少し、30歳未満では 38.9%減少した。飲酒運転の検挙件数も減少した。(※ 1)

カリフォルニア大学バークレー校の全米調査によると、Uber は米国におけるアルコール関連の交通事故死を 6.1%減少させ、交通事故死全体では 4%減少させた。(※ 2)

Uber導入(2014年)前後の時間あたりの自動車衝突事故件数(※3)



飲酒運転の検挙件数の推移(※4)

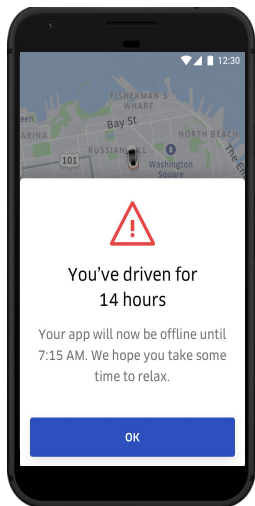


※ 1, ※ 3, ※ 4: [Journal of American Medical Association](#)、※ 2 [National Bureau of Economic Research](#)

テクノロジーを駆使した運転の安全確保

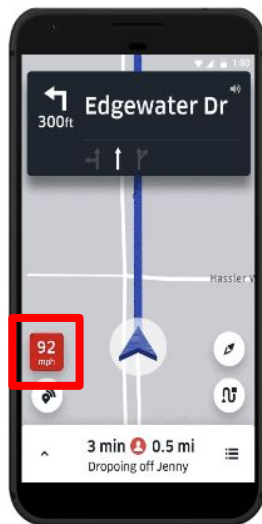
最新のテクノロジーを駆使し、危険運転や過労状態での運転を避けるための取り組みを行なっている。

運転時間の制限



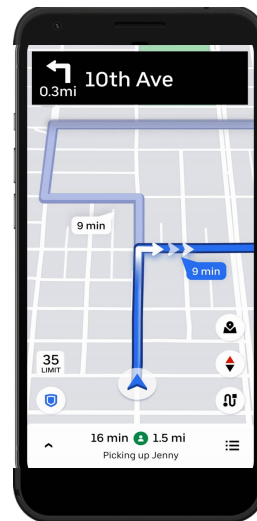
- 各国の規制に従い、一点時間稼働した運転手は、その後6~8時間程度アプリを使用できないようにする機能を搭載

速度制限アラート



- 稼働地域の速度制限に応じて、スピード超過が見られた場合、そのことをアプリの画面上で提示

左折を減らし、交差点前に注意喚起



- アメリカでは交通事故の22%が左折(日本でいう右折)が発生するため、出来るだけ左折を減らすナビゲーションシステムを独自に開発
- 大きな交差点の前では注意喚起のメッセージが表示される

6.テクノロジーを活用した安全・安心対策

独自のガイドラインで暴力、差別、危険運転等を明確に禁止

運転手、ユーザーに適用される独自のガイドラインを定め、重大な違反時には、プラットフォーム利用の一時または永久停止につながり得ることを明記。

具体的には、飲酒運転の禁止（一度の通報でアカウントの永久停止）、脅迫・不適切な言動や差別的な言動の禁止、交通安全法規の遵守義務、使用車両の管理義務などを含む。



誰に対しても敬意をもって接する

本項のガイドラインは、多様なコミュニティ内のあらゆる状況において、プラスの相互作用を促進します。

[詳細はこちら](#)



お互いの安全を守る

Uber では、すべての人にとってより安全な環境づくりに日々取り組んでいます。本書に定められた基準は、その取り組みに基づいています。また、本項では Uber Eats 専用のガイドラインも取り上げています。

[詳細はこちら](#)



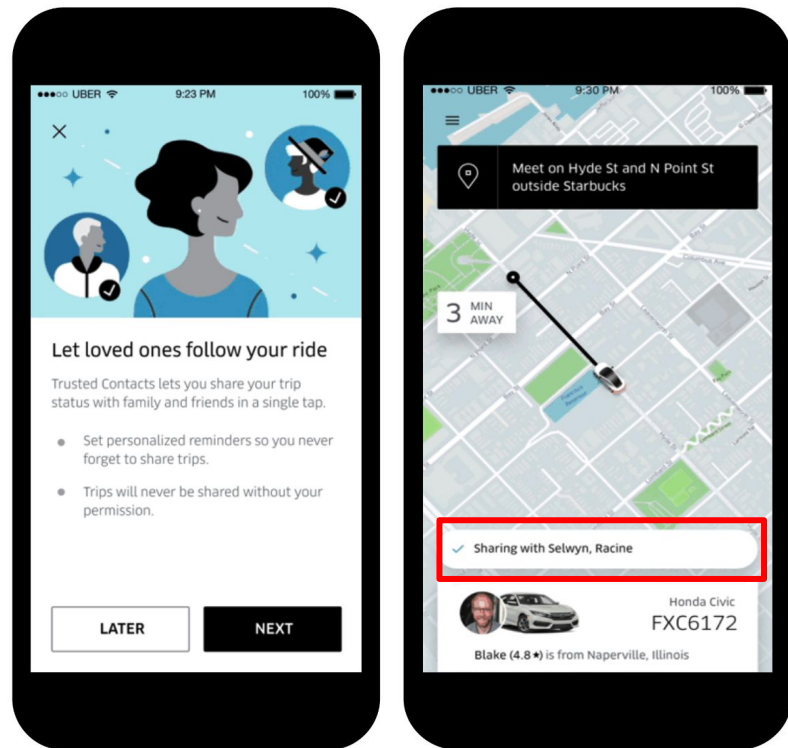
法律を守る

Uber は法律の遵守に細心の注意を払っています。アプリについても、ユーザーの皆様が各自の責任を果たし、適用される法律や規則を守ってお使いいただくことを前提としています。

[詳細はこちら](#)

インシデント発生への備え

- Uber は、サービスを提供する多くの国で、アプリ事業者の保険加入を義務付ける規制の有無に関わらず、運転手本人、乗客、第三者の人的・物的損害をカバーする保険に加入している
- 治安の悪い地域でのインシデント発生に備え、アプリにさまざまな機能を搭載
 - 車内の様子を録音・録画できる機能
 - 選択する親族・友人 5 人までと、乗車情報をリアルタイムで共有できる機能(夜間乗車のための共有なども選択できる)
 - アプリ上ですぐにアクセスできる緊急連絡先の登録
- 上記の安全機能について、乗客や運転手に定期的に啓発している



運転手の本人確認

Uber の登録時審査を通過した運転手以外が稼働することがないように、稼働を始める時、および稼働中も数時間おきに、写真撮影によって本人確認を行なっている。

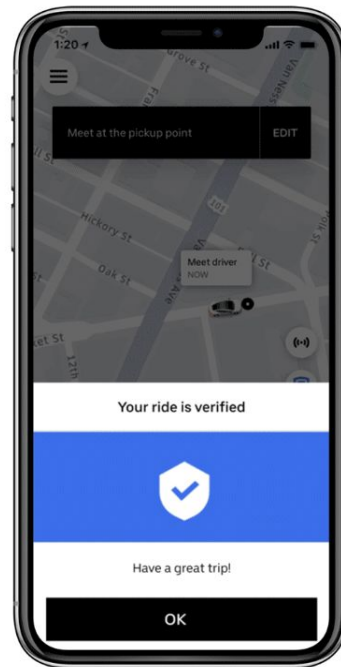
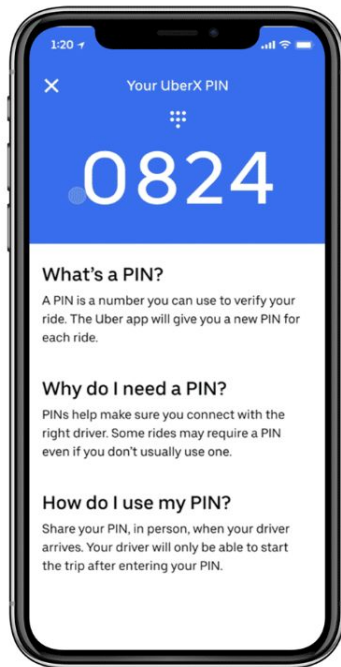
- 写真だけでなく、基本的な動作(まばたき、笑顔、首をかしげる)をランダムに確認し、運転手の本人確認を行う
- 顔認証がエラーを検出した場合は、3人のレビュアーが直接写真を確認する



PINコードによる乗車時認証

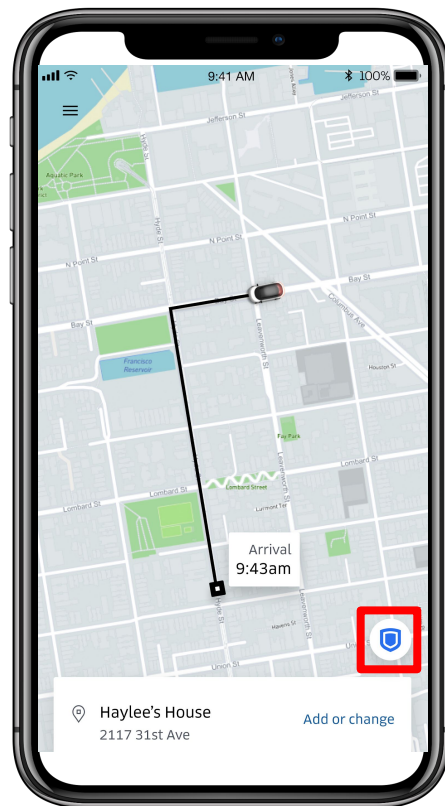
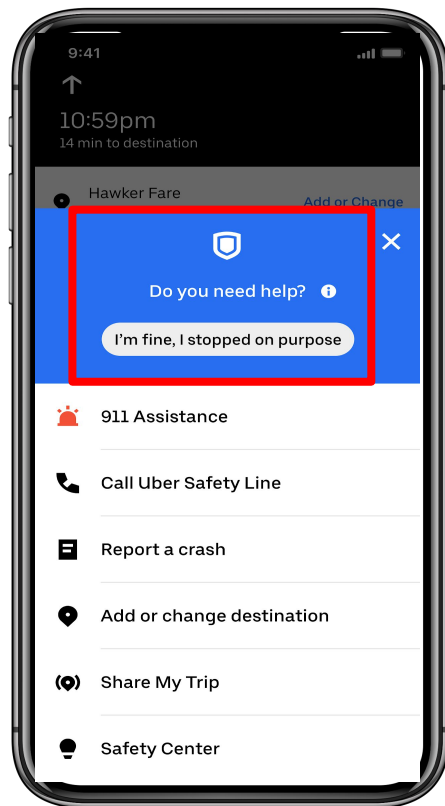
Uber の運転手になりすました者による
犯罪行為を防ぐため、一部地域では
PINコードを発行して確認を強化してい
る。

- マッチングが成立した時点で、乗客は PIN コードを受領
- 運転手は、乗客が持つ PIN コードをアプリに入力しなければ、運転を開始できない
- 正しい車両に乗っているかを自動で確認できる新技術を開発中



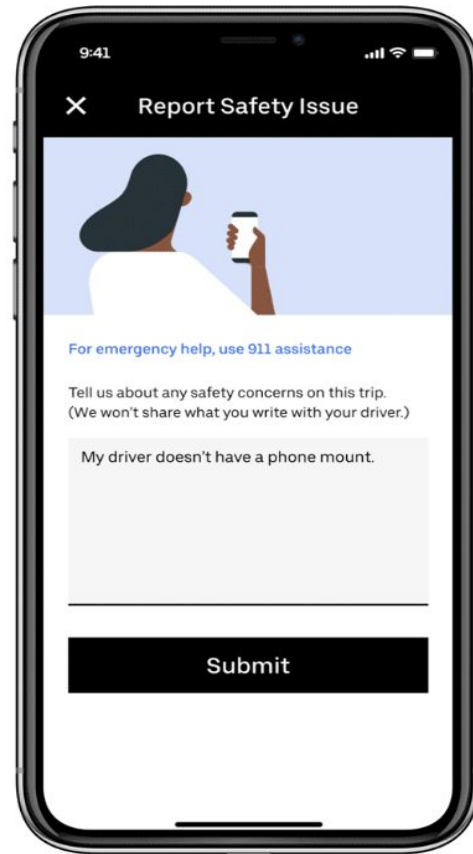
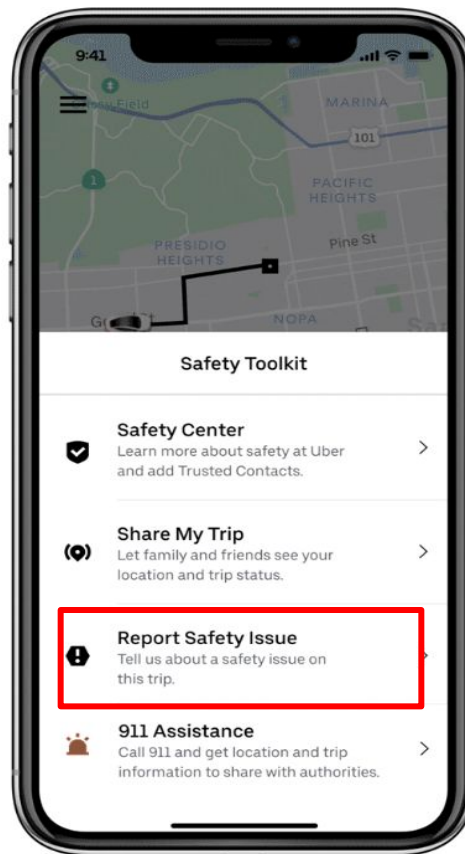
積極的な安全確認

- 乗車が開始したのち、不自然に長い停車や大幅なルート変更が見られる場合、問題がないか確認するメッセージを、Uberから運転手および乗客に自動で送信
 - 運転手・乗客は、必要があればメッセージから直接警察や Uber に通報したり、事前に登録しておいた緊急連絡先に GPS 情報を共有したりすることができる
- 全ての乗車において、アプリ画面上に常に表示されるボタンから、上記のような昨日にアクセスすることができる



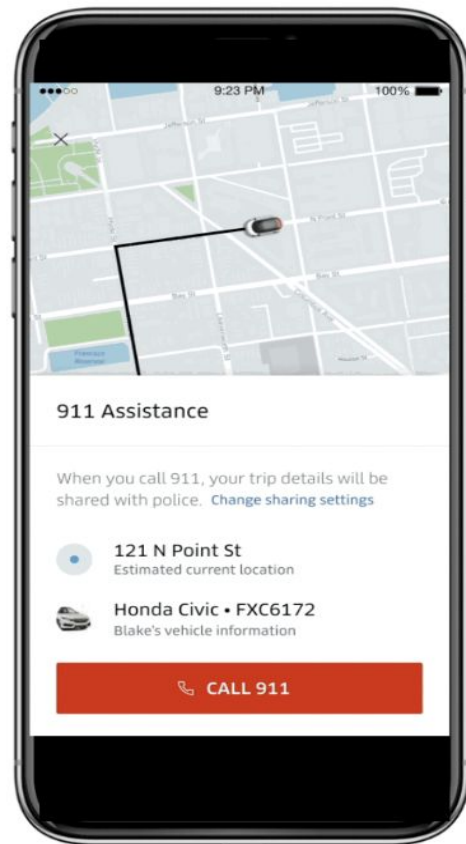
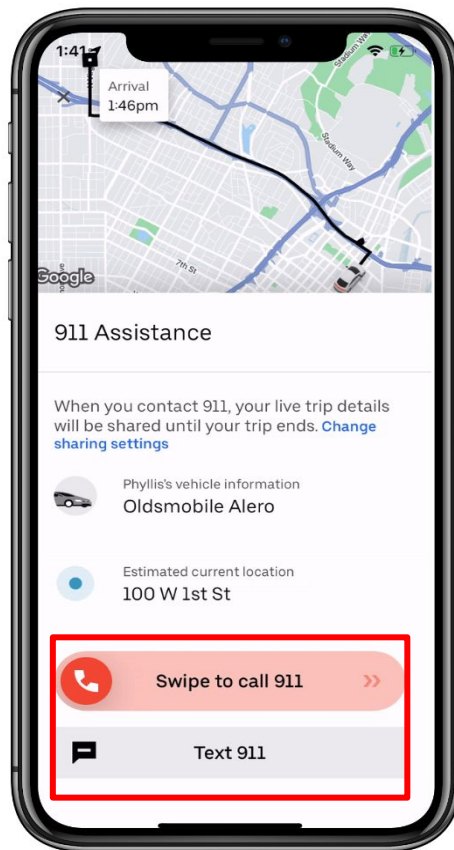
インシデント発生時の対応

- トラブルがあった場合には、アプリ上から簡単に Uber に通報することができる
 - Uber は事態の重要性に応じ、事実確認、注意喚起、今後該当運転手と乗客がマッチしない設定をするなどの対応を取る。コミュニティガイドラインや法律への違反が確認される場合には、アカウントの停止措置を取る
- Uber の安全担当エージェントに通報することができる 24 時間対応の電話窓口も整備されている



アプリ上から 110 番通報

- アメリカを含む一部の国では、アプリ上から直接警察に電話またはテキストメッセージで通報することができる機能を搭載している
 - 電話の場合、警察に正確に情報を伝えられるよう、車両や乗車に関する詳細情報、現在地などが自動的に表示される
 - テキストメッセージには、アプリから車両や乗車に関する詳細情報、現在地などが自動的に入力される



警察との連携

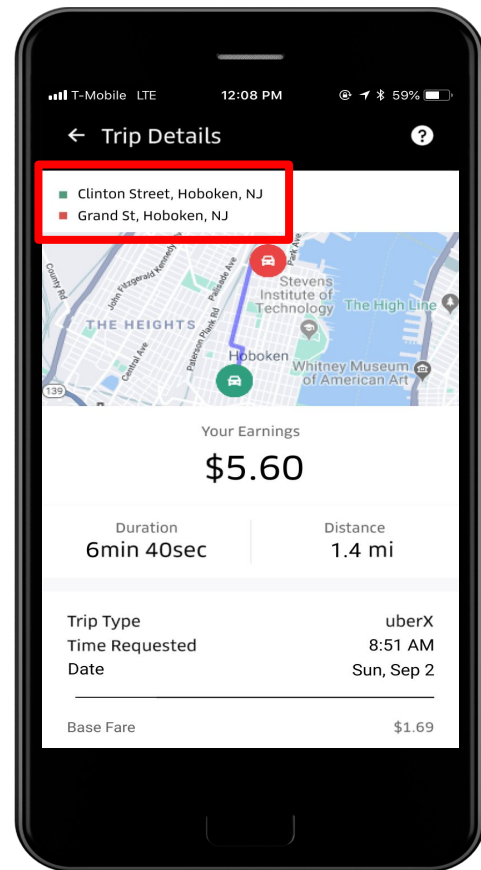
世界の 24 カ国・地域で、警察との連携のための専属チームを配置。
重大なインシデントが発生した場合の連携、乗客の啓発、運転手の
教育等における協力などを行なっている。

-  警察等出身の職員を抱え、現地の組織との連携を行なっている拠点
-  警察からの通報等に対し24時間体制での情報提供や対応を行なっている拠点



プライバシーの保護

- 運転手と乗客は、配車依頼の受諾後通話をすることができるが、お互いの番号は表示されない形でのアプリ内通話機能を搭載
- トリップの終了後は、乗客の住所は通りの名前までしか表示されないようにすることで、乗客のプライバシーを保護



7.経済への好影響

ナイトタイムエコノミーへの貢献

各地の利用者調査では、Uber の導入により、飲酒後の帰路の心配なく出かけられるようになったという意見が多く寄せられている。実際に、Uber の導入後に飲酒運転による事故が減少するなどの効果も見られている。

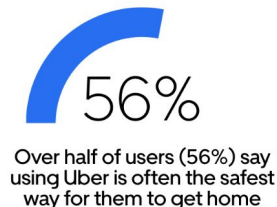
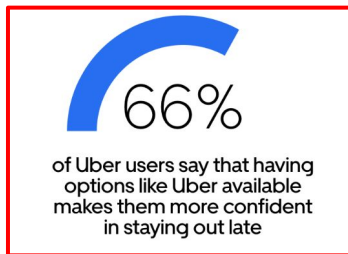
英国では、深夜の移動が容易になったことに伴うナイトタイムエコノミーの創出により、686 百万ポンド(約 1,235 億円)の経済効果が生まれたと試算されている。

経済効果の試算

70%近くのユーザーが安心して深夜まで外出できるようになったと回答



By making it easier to get home – often after public transport services have stopped for the night – Uber supports people working and spending in the night-time economy.



Uber helps people come together to try new hotspots, bars and restaurants, encouraging people to explore new parts of their towns and cities. Following the pandemic, Uber has continued to help riders travel with confidence, key to supporting businesses to rebuild, enabling job creation and supporting economic growth. 67% of riders say Uber makes it easier to get around their city and to get to bars and restaurants.

出典: [The Impact of Uber in the UK](#)

Uber